

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol.10, No. 1 神奈川県立 生命の星・地球博物館 Mar., 2004



ジャイアンツ・コースウェイ

(巨人伝説を生んだ柱状節理)

2003年9月3日撮影

平田大二 (学芸員)

北アイルランド北部の小さな田舎町ブッシュミルズ (Bushmills) は、アイリッシュ・ウィスキーの産地として知られている。その郊外の大西洋に面する切り立った海食崖に、1986年に世界遺産に指定されたジャイアンツ・コースウェイ (Giant's Causeway) がある。

この場所を世界的に有名なものとしているのは、直径約50cmの六角形の断面をもつ、高さ十数mにおよぶ約40,000本もの岩石柱の集合体で

ある。この岩石柱は柱状節理と呼ばれるもので、地下深くから上昇してきたマグマが、地表や地表付近で冷え固まるとき、体積が収縮してできる規則正しい割れ目である。この柱状節理は、約6,000万年前の火山活動により噴出した玄武岩質の溶岩が、冷えて固まったものである。この奇妙な形の岩石群は、地元では巨人がつくった敷石として言い伝えられている。